

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月18日

計画の名称	市民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりの推進（第3期）											
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）											
交付対象	京田辺市											
計画の目標	市民の多様なニーズに応えるため、「緑」や「農」の体験を通じた緑化の意識啓発や推進を図るため田辺公園の拡張整備を行う。また、京田辺市公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新を行い、計画的な維持管理を図ることにより、公園利用者の安全性の確保及び利便性の向上並びにライフサイクルコストの縮減を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	264	A	264	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(R2当初)	(R4末)	(R6末)	
1	一人あたりの都市公園の面積を増加する。 都市公園の面積／市の人口				6m ² / 人	6m ² / 人	6m ² / 人	
2	健全な公園施設（遊具等）の割合を増加する。 公園施設の更新を実施した公園施設数／公園長寿命化計画施設数 × 100				14%	16%	16%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

京田辺市建設部において実施

事後評価の実施時期

次期計画へ引き継いだ後

公表の方法

インターネット（京田辺市HP）での公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に遊具等の更新を行った。
令和2年度から令和4年度末において、公園面積が3ha増加。
市民一人あたり公園面積（都市公園の面積／市の人口）は6.09m²/人から6.34m²/人に増加した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

田辺公園拡張整備事業について、民間の資金やノウハウを活かした公園整備を行うため、Park-PFI制度を活用することとした。

特記事項（今後の方針等）

令和4年度から「官民連携で賑わいと農福連携をテーマとした新しいモデル事業を創出する田辺公園拡張整備事業」の整備計画へ移行している。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	6m ² / 人	
	最終実績値	6m ² / 人	
2	最終目標値	16%	
	最終実績値	16%	